

1 型糖尿病

症 状: 口渴, 多飲, 多尿, 体重減少, 腹痛, 全身倦怠感, 意識障害

検査所見: 血糖値, HbA1c, 尿ケトン体

1型糖尿病疑いの場合: 血液ガス, 血中ケトン体, 血中Cペプチド, 抗GAD抗体

血糖値

空腹時 126mg/dl 以上

随時 200mg/dl 以上



専門医にコンサルト

1型糖尿病発症

1型糖尿病発症疑い

糖尿病性ケトアシドーシス

劇症1型糖尿病, 急性1型糖尿病



直ちに専門医による
治療

劇症1型糖尿病診断基準

下記1~3の全ての項目を満たすものを「劇症1型糖尿病」と診断する

1. 糖尿病症状発現後1週間前後以内にケトーシスあるいはケトアシドーシスに陥る(初診時尿ケトン体陽性, 血中ケトン体上昇のいずれかを認める)
2. 初診時の(随時)血糖値 $\geq 288\text{mg/dL}$ (16.0mmol/L)かつHbA1c値 $< 8.7\%$ である。※劇症1型糖尿病発症前に耐糖能異常が存在した場合には, 必ずしもこの数字は該当しない。
3. 発症時の尿中Cペプチド $< 10\text{ }\mu\text{g/日}$ または空腹時血中Cペプチド $< 0.3\text{ ng/ml}$, かつグルカゴン負荷後(又は食後2時間)血中Cペプチド $< 0.5\text{ ng/ml}$ である。

急性1型糖尿病, 糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)

前駆症状	激しい口渴, 多飲, 多尿, 体重減少
	はなはだしい全身倦怠感, 消化器症状(悪心, 嘔吐, 腹痛)
身体所見	脱水(+++), 発汗(-), アセトン臭(+)
	Kussmaul大呼吸, 血圧低下, 循環虚脱
	脈拍頻かつ浅, 神経学的所見に乏しい, 意識障害
検査所見	血糖: $300\sim 1000\text{ mg/dl}$
	ケトン体: 尿中(+)~(3+), 血清総ケトン体 3mM 以上
	HCO_3^- : 10mEq/L 以下
	pH: 7.3未満
	K: 軽度上昇, 治療後低下
	BUN/Cre: 高値